

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4~5面 暮らしとデジタル庁/バリア/ホットライン
- 6面 コロナ冬の感染対策/文化情報/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/自然とあそぼう!



山形市 佐竹美津子 (67)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

解雇、シングル困窮、コロナうつ…

女性支援急いで

緊急女性アンケート「コロナ禍での仕事の『困った』の声」より



SDGs エス・ディー・ジーズ

持続可能な開発目標

新婦人が緊急要請

「コロナ禍が女性の雇用を直撃し、さらに第3波の感染急増で「年を越せるのか」と不安がうずまいていきます。新婦人は緊急アンケートに寄せられた声と実態で11月25日、政府に緊急支援を要請、記者会見をおこないました。(詳細はホームページ)

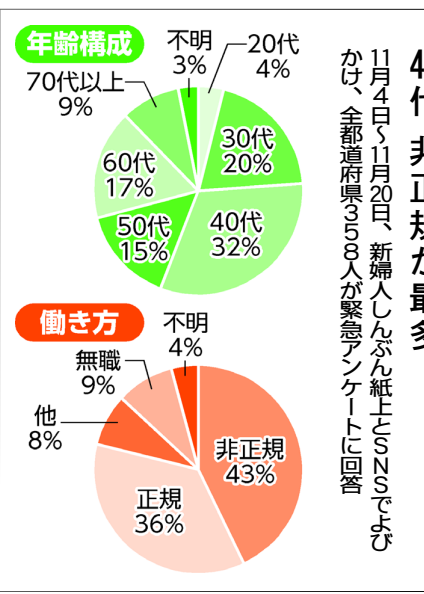


記者発表する米山淳子会長(中央)

非正規は真っ先に
コロナ失業が深刻となるなか、「女性の自殺が大幅増」というショッキングな事実が明るみに。10月の自殺は昨年比で40・2%増、とくに女性は82・8%増、20代、40代女性は2倍以上です。「女性活躍」「雇用増」と喧伝し、調整弁として非正規雇用を上げてきた政府の政策が、コロナ禍のもとで、矛盾を広げている。



感染症対策をしながら社会に不可欠な仕事を担う女性たち(都内)



ひとり親に不支給
シングルマザーの困窮が際立ちます。これまで週5日、9時から16時まで時給852円、手取り12万円、一時金なしで6年間働き、2人の子育て中の40代の女性(岐阜・

家庭不和、ストレス…
子育てや介護などの負担が集中し、家族の失業や家庭不和などで、コロナうつ、ストレス、体調

ます。
新婦人の「コロナ禍での仕事の『困った』の声」には、47都道府県の358人から、生々しい実態と痛切な声が寄せられました(2面)。
年代で一番多いのが40代32%、働き方で多かったのが43%を占める非正規雇用の女性です(左グラフ)。「突然解雇、住居も退去させられ、途方にくれた」(大分・20代派遣)、「蓄えがなく、長期の無職状態(東京・50代派遣)など、解雇、仕事減による収入激減で、「生きていけない」と悲鳴があがっています。さらに年末の政府による企業支援打ち切りでパート全員の解雇の予告の例もあり、さらなる深刻化が危惧されます。

ケアの現場は疲労困憊
正規雇用でも、とくに医療・保健・介護・保育・教育など女性の多いエッセンシャルワーカーは疲労困憊。医療現場で横断する賃金・一時金カットに「シングルで毎日帰宅が遅く、退職したい。ボーナスカットや一時的な給付金では、やってられない」(福井・30代看護師)の声も。自営業やフリーランスは、直接支援なしでは生活できないと共通して訴えています。

製造業(パート)の場合。政府の一斉休校による休業補償がまだ支給されず、会社でなく個人申請で支給を運動をおこなっています。小学校休業等対応助成金制度は20%しか執行されておらず、女性支援としても一刻も早い実行が求められます。

【年末年始の発行について】年内の最終号は12月17日号です。12月24日号は休刊となり、1月1日号新年号12頁(1月9日号と合併)は12月20日の週に届きます。1月の通常号は16日号からです。編集部

ともに声をあげて
菅政権は、コロナ感染急増と医療崩壊の危機の深刻な局面にも対処不能。11月26日、飲食店への時短要請拡大の発表でも、強く望まれているPCR検査実施やGoTo事業一時停止、医療減収の補填には触れず、

日本国憲法 第25条
すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

不良を訴える声が多くあり、経済的にも精神的にも追い込まれています。こうした事態が、自死に追い込まれる土壌を広げています。とくにPCR検査の遅れが、職場でも家庭でも不要な対応や不安、ストレスを蓄積させ、女性を追い込んでおり、検査徹底を望む声が圧倒的でした。

今回よせられた声は氷山の一角。しかし、これだけの実態が明るみにできたことは、新婦人の日ごろの活動の反映です。困っている女性たちが孤立しないよう、つながって、ともに政府や自治体に緊急対応を求めましよう。

- ### 主な緊急要請項目
- 1、年末年始にむけ女性24時間無料電話相談(土日祝含む)の緊急設置、体制と宿泊場所の確保、臨時給付金
 - 2、小学校休業等助成金の個人申請化と期限延長
 - 3、エッセンシャルワーカーのPCR定期検査と支援、医療機関の減収補填、保健所体制の強化
 - 4、新型コロナウイルス感染者への差別や誹謗中傷を防ぐ体制と広報などの対策
 - 5、シングルマザー、一人親家庭に対し、野党が共同要求している支援金再給付
 - 6、コロナうつ、家事・育児のストレス、DVなどに専門員の配置を含むサポート体制
 - 7、女性支援にもつながるPCR検査拡大、一律GoTo中止、生活・営業支援の諸施策、少人数学級、消費税減税、生活保護など

